



日本美を守り伝える
TSUMUGU
紡ぐプロジェクト

2026.7.30

文化審議会 文化財分科会 企画調査会

日本美を守り伝える 紡ぐプロジェクト —皇室の至宝・国宝プロジェクト—

読売新聞東京本社

紡ぐプロジェクト事務局

内田 淑子



I

「紡ぐプロジェクト」とは

II

「紡ぐプロジェクト」の現状

III

「紡ぐプロジェクト」の課題

I

自己紹介

1996年4月 読売新聞東京本社入社
→横浜支局に赴任

- ・神奈川県警（サツ回り）
- ・スポーツ
- 長野五輪（1998年）
- 高校野球（横浜高校・松坂世代）
- サッカー・ワールドカップ（2002年）

2002年 生活部

2012年 メディア局 ウェブサイトの運用

2019年 社長室 紡ぐプロジェクト事務局

2022年 事業局



「紡ぐプロジェクト」とは



2018年11月29日に報道発表

「紡ぐプロジェクト」とは

「保存・修理・公開」のサイクルで日本の美と技を未来へ継承します

「紡ぐプロジェクト」は、皇室ゆかりの美術工芸品や国宝・重要文化財をはじめ、伝統芸能、伝統工芸など、日本が世界に誇る「美」とその「技」を未来へ継承し、国内外へ発信していくために、文化庁、宮内庁、読売新聞社が連携・協力して2018年から取り組んでいる事業です。

特別展の開催、文化財修理への助成、新聞紙面やウェブサイトでの情報発信といった一連の事業で、「保存・修理・公開」のサイクルを回します。





I

「紡ぐプロジェクト」とは

II

「紡ぐプロジェクト」の現状

III

「紡ぐプロジェクト」の課題

「紡ぐプロジェクト」の現状

【保存・修理】修理費用を助成します

修理助成事業は「紡ぐプロジェクト」の協賛金や展覧会収益の一部をもとに、美術工芸品の修理を助成するもので、所蔵者から申請のあった中から、有識者による選考委員会で助成対象を決定しています。

2026年度は、新たに宮城、福岡、高知から申請があり、「瑞巖寺本堂 墨絵の間障壁画」（瑞巖寺蔵）、「不空罽索観音立像」（観世音寺蔵）、「大威徳明王像」ほか12件（竹林寺蔵）など計7件への助成が決まりました。

いずれも劣化が進んでおり、絵画や文書は折れや剥落などが目立っています。状況を調査し、修理方法を検討したうえで、短いものは1年、作品によっては最長5年まで助成します。助成対象は累計で57件となりました。

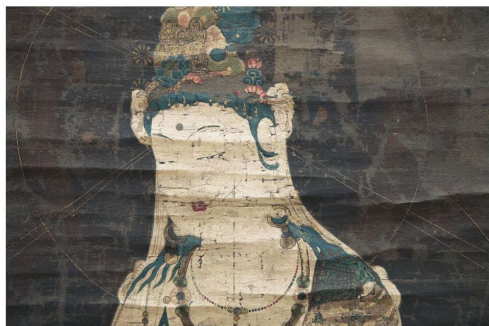


【国宝】扇面法華經冊子
平安時代 大阪・四天王寺蔵
※「紡ぐプロジェクト」一部修理終了作品
※2025年4月「日本国宝展」出展

修理事業の一例 2019年度から3か年の修理を終えた国宝「普賢菩薩像」（東京国立博物館蔵）

※2025年度「日本国宝展」で展示。26年「南都仏画」にも出品されます

before

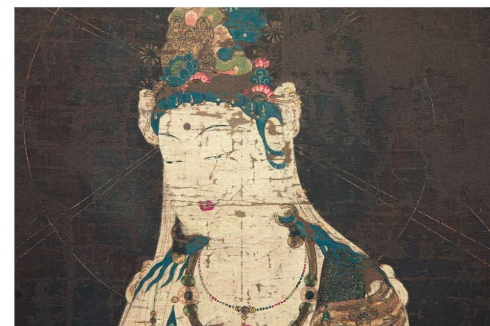


修理前は横折れが目立っていた



細やかな作業が続けられた

after



平安時代に描かれた当時のオリジナル部分を、より見えやすくするという方針で修理された

【保存・修理】これまでの修理助成事業（2019年度・8件）



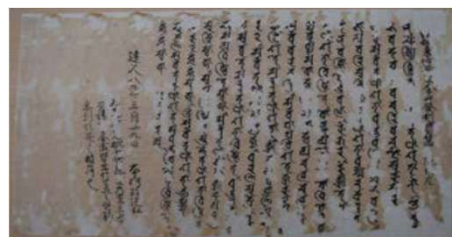
【国宝】阿弥陀二十五菩薩
来迎図（早来迎）
京都・知恩院 蔵
修理完了



☆【国宝】普賢菩薩像 東京・東京国立博物館 蔵 修理完了



★【重要文化財】観音菩薩／梵天／
帝釈天立像（二間観音）
京都・教王護国寺（東寺）蔵 修理完了



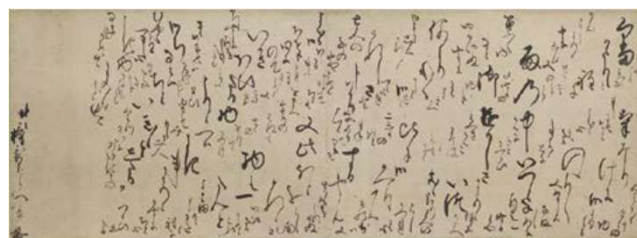
★【重要文化財】執金剛神立像・深沙大將立像 像内納入品 和歌山・金剛峯寺 蔵
修理完了



【国宝】直刀／黒漆平文太刀拵
茨城・鹿嶋神宮 蔵 修理完了



★【重要文化財】刺繍菊鍾馗図陣羽織 東京・前田育徳会 蔵
修理完了



【重要文化財】正親町天皇宸翰御消息 京都・大雲院 蔵
修理完了



【重要文化財】道達和尚伝道文 滋賀・延暦寺 蔵 修理完了

【保存・修理】これまでの修理助成事業（2020年度・7件）



【重要文化財】文殊菩薩像 京都・上品蓮台寺 蔵 修理完了



【重要文化財】方丈障壁画 長沢芦雪筆 和歌山・成就寺 蔵 修理完了



☆【重要文化財】板絵神像 京都・宝積寺 蔵 修理完了



【国宝】阿弥陀如来坐像（九体阿弥陀）
京都・浄瑠璃寺 蔵 修理完了



【重要文化財】服飾類
（伝 上杉謙信・上杉景勝所用）
山形・上杉神社 蔵 修理完了



★【国宝】泉涌寺勸縁疏 京都・泉涌寺 蔵 修理完了



★【国宝】後宇多天皇宸翰弘法大師伝 京都・大覚寺 蔵 修理完了

【保存・修理】これまでの修理助成事業（2021年度・6件）



【国宝】阿弥陀聖衆来迎図 和歌山・有志八幡講 蔵
修理完了



☆【重要文化財】方丈障壁画 長沢芦雪筆
和歌山・成就寺 蔵 修理完了（新たな面の修理を継続助成）



☆【重要文化財】蓮池図 伊藤若冲筆
大阪・西福寺 蔵 修理完了



★【重要文化財】如意輪観音坐像／阿弥陀如来坐像／金剛薩埵坐像
京都・随心院 蔵 修理完了



【重要文化財】智証大師坐像
京都・若王寺蔵 修理完了



【重要文化財】三千院円融蔵典籍文書類 京都・三千院 蔵
助成対象の修理完了

【保存・修理】 これまでの修理助成事業（2022年度・6件）



【重要文化財】東妙寺文書
佐賀・東妙寺 蔵 修理完了



【重要文化財】山水図襖 長谷川等伯筆
京都・隣華院 蔵 修理完了（新たな面の修理を継続助成）



【重要文化財】長命寺文書
滋賀・長命寺 蔵 修理完了



☆【国宝】絵因果経
京都・上品蓮台寺 蔵 修理完了

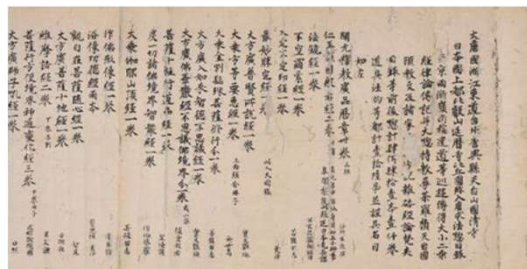


★【重要文化財】毘沙門天立像
京都・乙訓寺 蔵 修理完了



【国宝】扇面法華経
大阪・四天王寺 蔵

【保存・修理】これまでの修理助成事業（2023年度・7件）



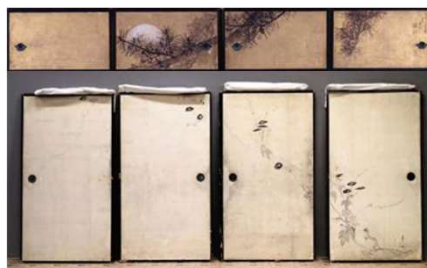
【国宝】智証大師関係文書典籍
滋賀・園城寺（三井寺）蔵 助成対象の修理完了



【国宝】薬師如来坐像 奈良・新薬師寺蔵 修理完了



【重要文化財】薬師如来坐像
京都・六道珍皇寺蔵 修理完了



【重要文化財】障壁画 円山応挙、長沢芦雪筆
和歌山・草堂寺蔵



【重要文化財】十一面観音立像 院範、院雲作
京都・宝積寺蔵 修理完了



【重要文化財】仏涅槃図
岡山・遍明院蔵 修理完了



【重要文化財】八瀬童子関係資料
京都・八瀬童子会蔵

【保存・修理】これまでの修理助成事業（2024年度・9件）



【国宝】弥勒仏坐像 運慶作
奈良・興福寺 蔵 **修理完了**



【重要文化財】八相涅槃図
福井・劔神社 蔵



【重要文化財】聖徳太子勝鬘経講讃図
三重・西来寺 蔵



【国宝】宋版太平御覧
京都・東福寺 蔵



★【国宝】金峯山経塚出土紺紙金字経
奈良・金峯山寺 蔵 **修理完了**



【国宝】聖徳太子及天台高僧像
兵庫・一乗寺 蔵



【重要文化財】満濟像、義賢像、義堯像、義演像、覚定像
京都・醍醐寺 蔵



【重要文化財】厨子入普賢菩薩像
京都・岩船寺 蔵 **修理完了**

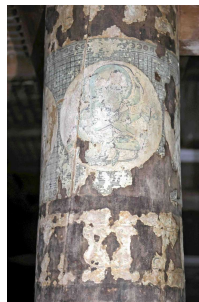


【重要文化財】山水図 伊藤若冲筆
大阪・西福寺 蔵 **修理完了**

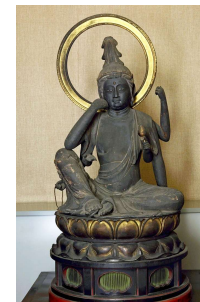
【保存・修理】これまでの修理助成事業（2025年度・7件）



【重要文化財】釈迦三尊像
愛知・林泉寺 蔵



【重要文化財】石山寺多宝塔柱絵
滋賀・石山寺 蔵



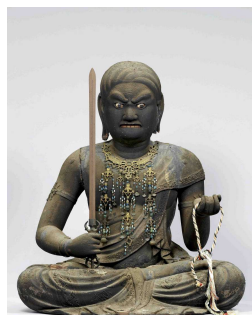
【重要文化財】如意輪観音坐像
京都・平等寺 蔵 **修理完了**



【重要文化財】蘭亭曲水図 京都・随心院 蔵



★【国宝】地藏菩薩立像 京都・大報恩寺 蔵 **修理完了**



【重要文化財】不動明王坐像
石川・法住寺 蔵 **修理完了**



【国宝】八大童子立像
【重要文化財】不動明王坐像
和歌山・金剛峯寺 蔵

【保存・修理】これまでの修理助成事業（2026年度・7件）



【重要文化財】梅竹蒔絵鞍
茨城・鹿島神宮 蔵



【重要文化財】瑞巖寺本堂 墨絵の間障壁画
宮城・瑞巖寺 蔵



【重要文化財】薬師如来坐像 京都・高田寺 蔵



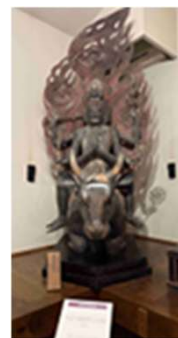
【重要文化財】山水図襖（伝長谷川等伯筆）
京都・隣華院 蔵



【重要文化財】不空羂索観音立像 福岡・観世音寺 蔵



【重要文化財】方丈障壁画（長沢芦雪筆）
和歌山・成就寺 蔵

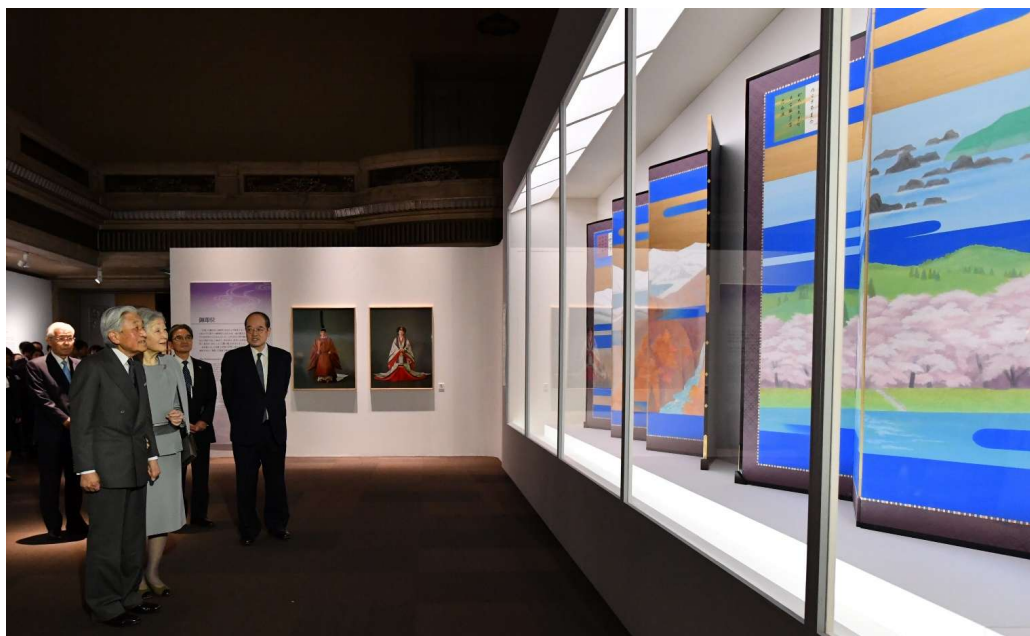


【重要文化財】大威徳明王ほか12件
高知・竹林寺 蔵

【公開】これまでの展覧会事業

プロジェクト開始以来、24の特別展を延べ30会場で実施しています（2026年7月現在）

2019	特別展 御即位30年記念 両陛下と文化交流—日本美を伝える—	19年3月～4月	東京国立博物館	122,764
	特別展 美を紡ぐ 日本美術の名品—雪舟、永徳から光琳、北斎まで—	19年5月～6月	東京国立博物館	106,593



「特別展 御即位30年記念 両陛下と文化交流—日本美を伝える—」をご覧になる
天皇后両陛下（上皇上皇后陛下）

【公開】これまでの展覧会事業

2020	特別展「工藝2020—自然と美のかたち—」	20年9月～11月	東京国立博物館	13,830
	特別展「桃山—天下人の100年—」	20年10月～11月	東京国立博物館	82,772
	「日本のたても—自然素材を活かす技と知恵—」	20年12月～21年1月/ 20年12月～21年2月/ 20年12月～21年2月	国立科学博物館／ 東京国立博物館／ 国立近現代建築資料館	20,447
2021	聖徳太子1400年遠忌記念 特別展「聖徳太子と法隆寺」	21年4月～6月	奈良国立博物館	44,233
		21年7月～9月	東京国立博物館	69,284
	特別展「聖林寺十一面観音 三輪山信仰のみほとけ」	21年6月～9月	東京国立博物館	58,526
		22年2月～3月	奈良国立博物館	34,385
	特別展「京の国宝—守り伝える日本のたから—」	21年7月～9月	京都国立博物館	37,065
	伝教大師1200年大遠忌記念「最澄と天台宗のすべて」	21年10月～11月	東京国立博物館	63,840
		22年2月～3月	九州国立博物館	29,519
		22年4月～5月	京都国立博物館	43,112
	「体感！日本の伝統芸能」	22年1月～3月	東京国立博物館	15,405



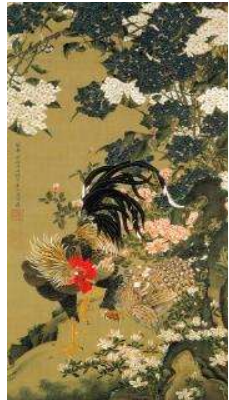
特別展「桃山—天下人の100年—」
会場の様子



特別展「聖林寺十一面観音 三輪山信仰のみほとけ」
の特別内覧会の様子

【公開】これまでの展覧会事業

2022	沖縄復帰50年記念 特別展「琉球」	22年5月～6月	東京国立博物館 平成館	90,377
		22年7月～9月	九州国立博物館	41,054
	「日本美術をひも解く ―皇室、美の玉手箱」	22年8月～9月	東京芸術大学大学美術館	92,845
	特別展「京に生きる文化 茶の湯」	22年10月～12月	京都国立博物館	91,354



「日本美術をひも解く ― 皇室、美の玉手箱」では、伊藤若冲の動植綵絵10幅を一堂に展示

【公開】 これまでの展覧会事業

2023	特別展「東福寺」	23年3月～5月	東京国立博物館 平成館	117,489
	国宝「普賢菩薩像」完成披露展示	23年4月～5月	東京国立博物館	
	「横尾忠則 寒山百得」展	23年9月～12月	東京国立博物館 表慶館	47,719
	特集「東京国立博物館の寒山拾得図―伝説の風狂僧への憧れ―」	23年9月～11月	東京国立博物館	



特別展「東福寺」では、東京国立博物館の特別展としては3年ぶりとなる開会式が行われた



紡ぐプロジェクト・助成事業対象となった、“国宝第1号”の「普賢菩薩像」が100年ぶりの修理を終え、展示された

【公開】これまでの展覧会事業

2024	特別展「法然と極楽浄土」	24年4月～6月	東京国立博物館 平成館	119,024
		24年10月～12月	京都国立博物館	87,546
	創建1200年記念 特別展「神護寺—空海と真言密教のはじまり」	24年7月～9月	東京国立博物館 平成館	181,763
	開創1150年記念 特別展「旧嵯峨御所 大覚寺—百花繚乱 御所ゆかりの絵画—」	25年1月～3月	東京国立博物館 平成館	190,754



創建1200年記念 特別展「神護寺—空海と真言密教のはじまり—」の内覧会の様子



大阪・関西万博開催記念 大阪市立美術館リニューアル記念特別展「日本国宝展」会場内の様子

【公開】これまでの展覧会事業

2025	大阪・関西万博開催記念 大阪市立美術館リニューアル記念特別展「日本国宝展」	25年4月～6月	大阪市立美術館	278,865
	特別展「運慶 祈りの空間―興福寺北円堂」	25年9月～11月	東京国立博物館 特別5室	303,668
	特別展「法然と極楽浄土」	25年10月～11月	九州国立博物館	97,312
2026	特別展「神仏の山 吉野・大峯」	26年4月～6月	奈良国立博物館	188,648
	特別展「百万石！加賀前田家」	26年4月～6月	東京国立博物館 平成館	203,755
	弘法大師生誕1250年特別展「空海と真言の名宝」	26年7月～9月	東京国立博物館 平成館	



特別展「運慶 祈りの空間―興福寺北円堂」 30万人を突破し記念セレモニーを実施しました



特別展「百万石！加賀前田家」報道内覧会ではアンバサダーの撮影会を実施しました

【公開】読売新聞紙面での情報発信

有形・無形を問わず、日本の美の継承に関する情報を大々的に掲載・発信しています

月1回（原則第1日曜）、全国版朝刊にて4ページ・オールカラーの大型特集を掲載しています。

紡ぐプロジェクトの展覧会情報や修理の作業レポートなどを中心に、伝統工芸や伝統芸能の担い手たちへの取材を通して、伝統文化の魅力や技の奥深さだけでなく、継承の課題なども伝えています。フロントページには協賛社のロゴを掲出しています。



2025年5月は開催中の大阪・関西万博と文化財の関わりについてタイムリーに紹介しました

【公開】読売新聞紙面での情報発信



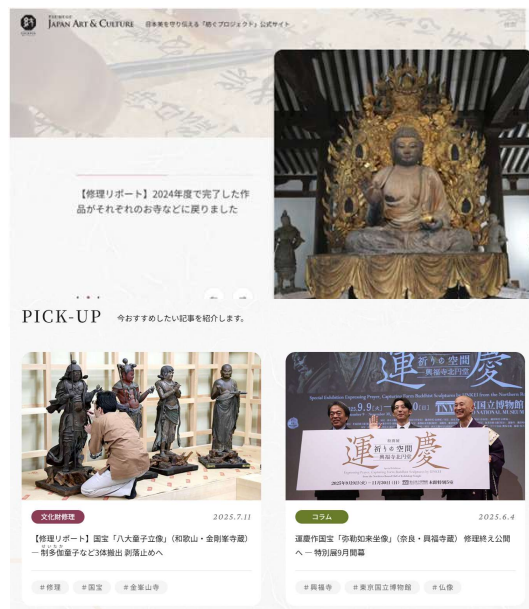
コンセプトは「美と技の継承」

紡ぐプロジェクトの修理事業のリポートや、皇室に伝わる名品の紹介のほか、歌舞伎や文楽などの伝統芸能も掲載しています。

【公開】公式サイト「TSUMUGU : Japan Art & Culture」

デジタルでも情報発信

TSUMUGU JAPAN ART & CULTURE



<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/>

「TSUMUGU : Japan Art & Culture」は、紡ぐプロジェクト特別紙面で掲載した記事を中心に、デジタルでも情報発信できるよう運用しています。

特別展サイトへの入り口にもなっています。

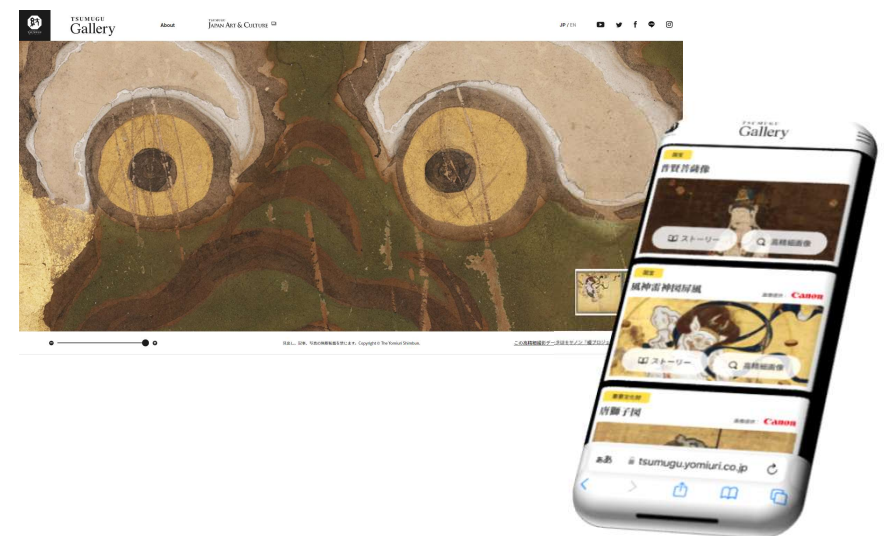
月間PV : 337,329
(2025年度平均)

ユーザー
男性 : 44% 女性 : 56%

日本の名品を高精細画像で紹介するコーナー

TSUMUGU Gallery

「TSUMUGU Gallery」は、日本が誇る絵画や仏像、彫刻、書などの名品を高画質の美しいデジタル画像で紹介するスペシャルコンテンツです。ユーザーの思いのままに隅々まで拡大可能な新しい鑑賞スタイルを提供しています。



<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/gallery/>



I

「紡ぐプロジェクト」とは

II

「紡ぐプロジェクト」の現状

III

「紡ぐプロジェクト」の課題

【修理】助成先をどう広げるか

■自治体の偏り

修理助成対象作品について



修理助成対象作品の 都道府県別の数は

京都	20件
和歌山	5件
滋賀・大阪・奈良	各3件
東京	2件
山形・茨城・福井・三重・兵庫・岡山・佐賀	各1件



修理助成対象作品の 種別数は

絵画 18件	彫刻 11件	書跡・典籍 4件
古文書 6件	工芸 3件	歴史資料 1件

※2024年度作成のリーフレットより

■継続事業の増加

障壁画や書籍・典籍類は、複数の面や数千冊にもおよぶ冊子類を順に修理していく必要があり、多くの費用を要します。助成も途中で打ち切ることが難しく、新規の案件を採択することとのバランスをどのようにとっていくか…が課題となりつつあります。

【修理】助成費の上積みは…？

■展覧会開催費用の増加

展覧会を開催するには、作品の輸送、会場の施工・展示造作、ポスターやチラシ類、図録の制作、会場内の監視、広報宣伝など様々な業務があり、それぞれに費用がかかります。物価高騰、人件費上昇の影響は展覧会にも及んでおり、さらに「展示ケースの制作に欠かせないアクリルが手に入らない」といった、資材確保への不安の声も聞かれるようになりました。

紡ぐプロジェクトでは、特別展の収益の一部を修理に充てるとしてはいますが、コロナ禍以降も助成費を増やしていける状況には至っていません。



特別展「旧嵯峨御所 大覚寺一百花繚乱 御所ゆかりの絵画」の会場の様子。障壁画を並べるためには、大きな展示ケースを新調する必要がある

順位	展覧会名	会場	総入場者数	会期	日数	1日平均
6	イヴ・サンローラン展 時を超えるスタイル	国立新美術館	251,140	2023/9/20 ~ 12/11	72日間	3,488
7	CLAMP展	国立新美術館	248,005	2024/7/3 ~ 9/23	72日間	3,445
8	デ・キリコ展	東京都美術館	234,391	2024/4/27 ~ 8/29	103日間	2,276
9	デイヴィッド・ホックニー展	東京都現代美術館	229,245	2023/7/15 ~ 11/5	98日間	2,339
10	パリ ポンピドゥーセンター キュビズム展 —美の革命ピカソ、ブラックからドロシー、シャガールへ—	国立西洋美術館	222,599	2023/10/3 ~ 2024/1/28	98日間	2,271
11	コレクション展 1	金沢21世紀美術館	202,670	2024/6/22 ~ 9/29	86日間	2,357
12	生涯1250年記念特別展 「空海 KUKAI—密教のルーツとマンダラ世界」	奈良国立博物館	190,671	2024/4/13 ~ 6/9	51日間	3,739
13	金曜ロードショーとジブリ展	富山県美術館	182,012	2023/10/7 ~ 2024/1/28	96日間	1,896
14	ゴッホと静物画 —伝説から革新へ—	SOMPO美術館	182,008	2023/10/17 ~ 2024/1/21	79日間	2,304
15	創建1200年記念 特別展 「神護寺—空海と真言密教のはじまり」	東京国立博物館	181,763	2024/7/17 ~ 9/8	47日間	3,867
16	鈴木敏夫とジブリ展	横須賀美術館	172,658	2024/3/20 ~ 6/18	88日間	1,962
17	開館35周年記念 ガウディとサグラダ・ファミリア展	名古屋市美術館	163,702	2023/12/19 ~ 2024/3/10	67日間	2,443
18	特別展 「やまと絵 —受け継がれる王朝の美—」	東京国立博物館	162,104	2023/10/11 ~ 12/3	48日間	3,377
19	動物と花鳥の分野で新境地を拓いた画家 「橋本閑雪と榊原紫峰」	足立美術館	162,031	2023/8/31 ~ 11/30	92日間	1,761
20	「季節のアイテム」 日本画から感じる春夏秋冬	足立美術館	155,632	2024/3/1 ~ 5/31	92日間	1,692
21	永遠の都ローマ展	東京都美術館	153,554	2023/9/16 ~ 12/10	74日間	2,075
22	あべのハルカス美術館開館10周年記念 広重 —旅の極—	あべのハルカス美術館	146,711	2024/7/6 ~ 9/1	57日間	2,574
23	特別展「古代メキシコ —マヤ、アステカ、テオティワカン」	国立国際美術館	137,585	2024/2/6 ~ 5/6	80日間	1,720
24	大巻伸嗣 Interface of Being 真空のゆらぎ	国立新美術館	136,126	2023/11/1 ~ 12/25	48日間	2,836
25	ポケモン×工芸展 —美とわざの大発見—	MOA美術館	131,496	2024/7/6 ~ 9/9	57日間	2,307
26	ジブリパークとジブリ展	新潟県立近代美術館	126,126	2024/4/12 ~ 6/23	48日間	2,628
27	テート美術館展 光 —ターナー、印象派から現代へ—	大阪中之島美術館	124,372	2023/10/26 ~ 2024/1/4	70日間	1,777

<<< NEXT RANKING 28-50

2023.10-2024.9

展覧会 入場者数 ランキング

TOP
50



モネが上位を独占！日本美術は中尊寺がトップ。
地方でもジブリ関連の展示は人気のようです。
あなたが足を運んだ展覧会は何位でしょうか？

1位

モネ 連作の情景

462,771人

上野の森美術館 2023/10/20 ~ 2024/1/28 (99日間)

1日平均: 4,674人

2位

モネ 連作の情景

452,943人

大阪中之島美術館 2024/2/10 ~ 5/26 (80日間)

1日平均: 5,662人

3位

印象派 モネからアメリカへ ウスター美術館所蔵

313,508人

東京都美術館 2024/1/27 ~ 4/7 (62日間)

1日平均: 5,057人

4位

マティス 自由なフォルム

266,636人

国立新美術館 2024/2/14 ~ 5/27 (91日間)

1日平均: 2,930人

5位

建立900年 特別展「中尊寺金色堂」

252,601人

東京国立博物館 2024/1/23 ~ 4/14 (72日間)

1日平均: 3,508人

【注】・2023年10月から2024年9月末に開催された美術に関する展覧会（2024年9月末時点で終了している展覧会に限る）のうち、回答のあった入場者数5万人以上の展覧会について上位50件を掲載。
・巡回展の場合は1会場ごとの入場者数を算出。1日平均入場者数は小数点以下を四捨五入して算出。
・巡回展は会場によって展覧会の名称が異なる場合があります。
・主催によって総入場者数が異なる場合は多い人数を掲載。入場者数には内覧会、開幕式の参加人数を含む場合があります。

あ連R般 CAPS KING

雑誌「美術の窓」
ランキング 2023.10~2024.9

順位	展覧会名	会場	観入場者数	会期	日数	1日平均
6	奈良国立博物館開館130年記念特別展 国宝―折りのかがやき―	奈良国立博物館	336,831	2025/4/19～ 6/15	51日間	6,605
7	田中一村展 奄美の光 魂の絵画	東京都美術館	288,364	2024/9/19～ 12/1	64日間	4,506
8	大阪・関西万博開館記念 大阪市立美術館 リニューアル記念特別展 「日本国宝展」	大阪市立美術館	278,864	2025/4/26～ 6/15	46日間	6,062
9	コレクション展 1 マテリアル・フィバー	金沢21世紀美術館	275,935	2025/5/24～ 9/15	99日間	2,787
10	ミロ展	東京都美術館	257,065	2025/3/1～ 7/6	111日間	2,316
11	特別展「姉川実花展 with EIM: 彼岸の光、此岸の影」	京都市 京セラ美術館	252,048	2025/1/11～ 3/30	70日間	3,601
12	金曜ロードショーとジブリ展	三重県総合博物館 他	233,764	2025/1/31～ 4/11	61日間	3,832
13	大阪・関西万博開館記念 特別展 「日本、 美のつば―異文化交流の軌跡―」	京都国立博物館	231,701	2025/4/19～ 6/15	50日間	4,634
14	ヨシタケシンスケ展かもしれない たっぷり増量タイプ	CREATIVE MUSEUM TOKYO	223,682	2025/3/20～ 6/3	76日間	2,943
15	西洋絵画、どこから見るか？―ルネサンスから 印象派まで サンディエゴ美術館vs国立西洋美術館	国立西洋美術館	222,565	2025/3/11～ 6/8	79日間	2,817
16	大阪・関西万博開館記念 大阪市立美術館リニューアル 記念特別展 ゴッホ展 家族がつないだ画家の夢	大阪市立美術館	217,522	2025/7/5～ 8/31	51日間	4,265
17	コレクション展 3	金沢21世紀美術館	217,065	2025/2/1～ 5/11	86日間	2,524
18	金曜ロードショーとジブリ展	福島県立美術館	212,796	2025/7/19～ 9/28	62日間	3,432
19	特別展「葛屋重三郎 コンテンツビジネスの風雲児」	東京国立博物館	211,037	2025/4/22～ 6/15	49日間	4,307
20	特別展「江戸☆大奥」	東京国立博物館	210,374	2025/7/19～ 9/21	58日間	3,627
21	金曜ロードショーとジブリ展	長崎県美術館	204,632	2025/4/24～ 7/6	70日間	2,923
22	積層する時間：この世界を描くこと	金沢21世紀美術館	203,306	2025/4/29～ 9/28	132日間	1,540
23	日本美術院再興110年 「日本画の開拓者たち」	足立美術館	202,515	2024/8/31～ 11/30	92日間	2,201
24	ルイズ・ブルジョワ展：地獄から帰ってきた ところ 言っとくけど、素晴らしいわ	森美術館	196,332	2024/9/25～ 2025/1/19	117日間	1,678
25	オランジュリー美術館 オルセー美術館 コレクションより ルノワール×セザンヌ―モダンを描いた2人の巨匠	三菱一号館美術館	195,876	2025/5/29～ 9/7	94日間	2,084
26	モネ 睡蓮のとき	豊田市美術館	192,519	2025/6/21～ 9/15	77日間	2,500
27	開創1150年記念 特別展「旧嵯峨御所 大覚寺 ―百花繚乱 御所ゆかりの絵画―」	東京国立博物館	190,754	2025/1/21～ 3/16	49日間	3,893

<<< NEXT RANKING 28-50

2024.10-2025.9

展覧会 入場者数 ランキング

TOP
50



今年もモネがワンツーフイニッシュ、東京展は
なんと80万人超え！50位も10万人超と、コ
ロナ禍以前の盛り上がりに戻ってきました。

「モネ 睡蓮のとき」開催中の国立西洋美術館。
雨の日でも多くの人が訪れ、長蛇の列となっていた。

- 1位** **モネ 睡蓮のとき** **807,566人**
国立西洋美術館 2024/10/5～2025/2/11 (108日間) 1日平均：7,477人
- 2位** **モネ 睡蓮のとき** **355,755人**
京都市京セラ美術館 2025/3/7～6/8 (83日間) 1日平均：4,286人
- 3位** **坂本龍一 | 音を視る 時を聴く** **344,772人**
東京都現代美術館 2024/12/21～2025/3/30 (82日間) 1日平均：4,205人
- 4位** **Hello Kitty展**
―わたしが変わるとキティも変わる― **344,096人**
東京国立博物館 2024/11/1～2025/2/24 (94日間) 1日平均：3,661人
- 5位** **挂甲の武人 国宝指定50周年記念
特別展「はにわ」** **339,712人**
東京国立博物館 2024/10/16～12/8 (48日間) 1日平均：7,077人

【注】・2024年10月から2025年9月末に開催された美術に関する展覧会（2025年9月末時点で終了している展覧会に限る）のうち、
回答のあった入場者数5万人以上の展覧会について上位50件を掲載。
・巡回展の場合も1会場ごとの入場者数を算出。1日平均入場者数は小数点以下を四捨五入して算出。
・巡回展は会場によって展覧会の名称が異なる場合があります。
・主催によって観入場者数異なる場合は多い人数を掲載。入場者数には内覧会、開幕式の参加人数を含む場合があります。

雑誌「美術の窓」
ランキング 2024.10～2025.9

◆モネや印象派は大人気！
◆2024年より25年の入場者
数が増加傾向

【協賛】ブランディングにどう寄与するか

■情報発信の工夫

修理を支える協賛社の存在をどう伝えていくか—は大きな課題です。

特別展のポスターやチラシへの掲出、開会式などでのご紹介、会場内でのパネル掲出などの機会を設けていますが、「紡ぐプロジェクト」の知名度を上げる取り組みをさらに工夫していく必要があります。

大学での授業など、若い世代への情報提供も推進しています。

※江戸川大学 2025年度新聞論Ⅱ 感想より

◆「今回の講義を通して、新聞社は記事を書く仕事だけでなく、展覧会などの文化事業を通じて社会に関わっていることを知った。特に印象に残ったのは「紡ぐプロジェクト」で、文化財を展示して多くの人に見てもらうことが、結果的に修理や保存につながっている点である。ただ守るだけでなく、公開することで「守りたい」という気持ちを広げているのだと感じた。また、文化財の修理では元の姿に戻すのではなく、将来また修理できるようにする「可逆性」が大切にされていることも興味深かった。新聞社の文化事業は、文化を身近にし、人々の関心を行動へとつなげる役割を持っていると思った。」

◆「新聞社は記事を通じて情報を伝えるだけでなく、文化事業を行うことで社会に貢献している存在であると感じた。「紡ぐプロジェクト」は、文化財を公開し、多くの人に知ってもらうことで守り継ぐ意識を広げる取り組みであり、非常に意義深いものである。日本美術は壊れやすい素材で作られており、人の手によって支えられてきたという点から、文化財は自然に残るものではないと理解した。展覧会やデジタル展示などの工夫によって、若い世代にも文化への関心を持たせようとしている点が印象に残った」

■特別な体験の提供

修理を支える協賛社に何を還元できるか—も事業継続には必要な視点です。



日本美を守り伝える
TSUMUGU
紡ぐプロジェクト

2026.7.30

文化審議会 文化財分科会 企画調査会



重要文化財板絵著色神像
弘安九年四月廿五日ノ裏書アリ一面
宝積寺第八九世住職寺石亮尚
令和二年度修理事業令和三年三月修理了
国庫補助事業
紡ぐプロジェクト文化財維持修理助成事業
一般社団法人川合京都伝統美術財団文化財修理助成事業
京都国立博物館文化財保存修理所第二修理室
株式会社同暎光堂

重要文化財板絵著色神像
弘安九年四月廿五日ノ裏書アリ一面
宝積寺第八九世住職寺石亮尚
令和二年度修理事業令和三年三月修理了
国庫補助事業
紡ぐプロジェクト文化財維持修理助成事業
一般社団法人川合京都伝統美術財団文化財修理助成事業
京都国立博物館文化財保存修理所第二修理室
株式会社同暎光堂

紡ぐプロジェクト事務局 内田淑子